

もくじ

1 国際社会に関する問題(1)	4
2 国際社会に関する問題(2)	12
3 環境問題に関する問題(1)	20
4 環境問題に関する問題(2)	28
5 社会福祉に関する問題	36
6 身近な生活に関する問題	44
7 日本の文化・産業に関する問題(1)	52
8 日本の文化・産業に関する問題(2)	60
9 文章を読んでまとめる問題(1)	2
10 文章を読んでまとめる問題(2)	10
11 資料を読み取って書く問題	18
12 二つの文を比較して書く問題	26
13 課題・テーマについて書く問題	34

※9～13はうしろから始まります。

※適性検査の問題を掲載するにあたり、一部問題の削除、改変を行っている場合があります。

写真：ユニフォトプレス／朝日新聞社／学校法人 北里研究所／共同通信社／京都国立博物館／仙台市環境局／

練馬区立石神井公園ふるさと文化館／明治新聞雑誌文庫／Image: TNM Image Archives (順不同)

※写真許諾の事情により、実際に出題された写真と異なる場合があります。

1 国際社会に関する問題（1）

確認問題

食料自給率や食料の輸入について理解し、日本の食料問題について考える。
世界各国の主要な食料の生産と輸出について理解する。

【】たろうさんたちは、留学生による日本語のスピーチコンテストを聞きに行きました。帰りにスピーチを聞いた感想を話し合っています。次の(1), (2)の問い合わせに答えなさい。 【大分県立大分豊府中】

たろう：「日本に来て思ったこと」というタイからの留学生のスピーチは、考えさせられたね。

ななこ：うん。世界には、その日の食事にも困っている国もあるのね。それなのに、私たち日本人が食べ残して捨てる量は、決して少なくはないよね。

みゆき：そうね。日本は食べ物が豊富で、レストランでは、和食や中華料理、イタリア料理などを食べたり、コンビニエンスストアでは、夜中でも弁当やおにぎりを買ったりできるしね。

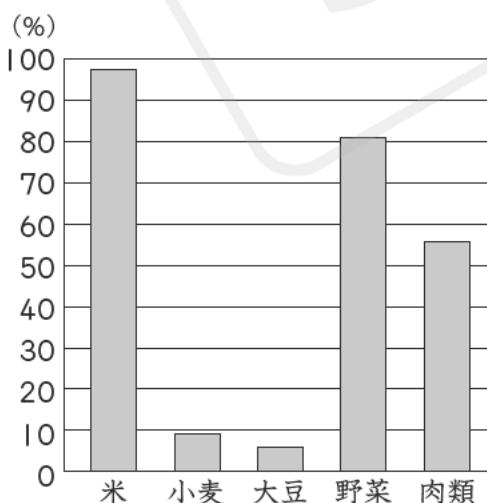
たろう：確かに食事に困ることはないな。でも、日本の食生活は本当に豊かなのかな。自分が毎日食べているものについて考えないといけないね。

ななこ：それなら、日本の食料自給率を調べてみましょうよ。

□(1) 次の文章は、ななさんが資料1と資料2の両方から分かることと、それに対する考え方をまとめたものです。(①)～(④)の中に当てはまる言葉をそれぞれ書きなさい。ただし、同じ番号のところには同じ言葉が入ります。

食料自給率の低い(①)と(②)のそれぞれ半分以上を(③)から輸入していることが分かる。しかし、1つの国から輸入するのではなく、その国の異常気象による生産量の減少などに対応するため、世界の国から少しずつ輸入していく必要がある。また、(①)の代わりに(④)をラーメンのめんやパンやクッキー、ケーキなどの原料として使うなどの研究を進めたらいいと思う。

資料1 日本の主な食料の自給率(2010年) 資料2 日本の主な農産物の輸入先(2012年)



「日本国勢団会2013/2014」から作成

	1位(%)	2位(%)	3位(%)
小麦	アメリカ合衆国 (52.9)	カナダ (27.6)	オーストラリア (19.3)
大豆	アメリカ合衆国 (61.6)	ブラジル (19.5)	カナダ (16.3)
野菜	中国 (50.3)	アメリカ合衆国 (18.3)	韓国 (5.5)
肉類	アメリカ合衆国 (27.6)	オーストラリア (14.2)	中国 (11.0)

「日本国勢団会2013/2014」から作成

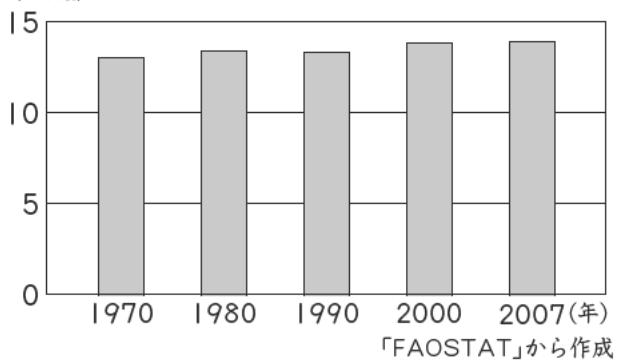
①	②
③	④

1 國際社會に関する問題（1）

□(2) 日本の将来の食料の供給について考えられる問題点を、資料3と資料4を使って書きなさい。

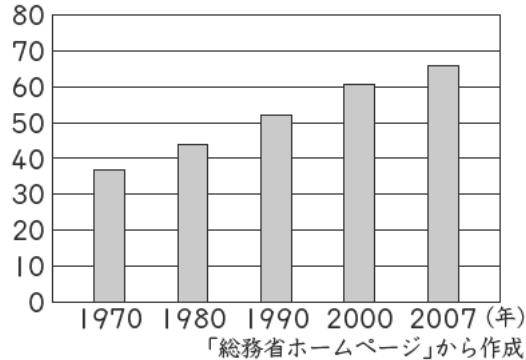
資料3 世界の耕地面積の変化

(億ha)



資料4 世界の人口の変化

(億人)



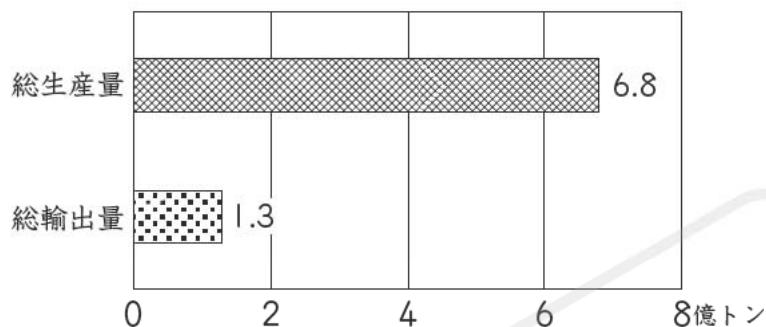
考え方 ?

- 1 (1) **ステップ 1** 資料1を見ると、食料自給率が低いのが、小麦と(①)であることがわかります。したがって、①と②には、このどちらかが入ります。
- ステップ 2** 資料2を見ると、小麦と(①)の両方とも、輸入先の相手国の中位は(②)であることがわかります。
- ステップ 3** 「(①)の代わりに(④)をラーメンのめんやパンやクッキー、ケーキなどの原料として使うなどの研究を進めたらいい」とあるので、①には、ラーメンのめんやパンやクッキーなどの材料になる(③)が入ることがわかります。また、④に入るものを考えると、資料1の食料の中で、ラーメンのめんやパンの材料にできるのは(④)だけです。
- (2) **ステップ 1** 資料3は世界の(①)の変化を示したもので、これを見ると、1970年から2007年にかけてあまり増えていないことがわかります。
- ステップ 2** 資料4は世界の(②)の変化を示したもので、(②)は、(③)年に約38億人だったものが(④)年には約66億人になっています。
- ステップ 3** (②)は大きく増加しているのに(①)があまり増えていないということから、今後、食料の供給がどうなるかを考えます。

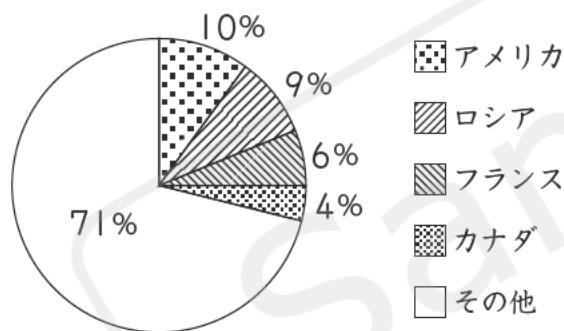
□2 のぶおさん、さくらさん、ゴメスさんは夏休みの自由研究で、世界の地理について調べることになりました。それぞれが図書館で調べた資料を持ち寄り、話し合っています。【東京都立立川国際中】

さくら：資料1、資料2、資料3を見てください。資料1は、世界の小麦の総生産量と総輸出量をグラフにしたものです。資料2は、世界の小麦の総生産量にしめる4か国の生産量の割合、資料3は、世界の小麦の総輸出量にしめる4か国の輸出量の割合をグラフにしたものです。

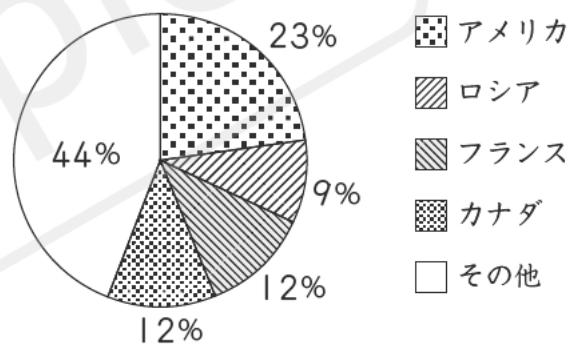
資料1 世界の小麦の総生産量と総輸出量(2008年)



資料2 世界の小麦の総生産量にしめる4か国の生産量の割合(2008年)



資料3 世界の小麦の総輸出量にしめる4か国の輸出量の割合(2008年)



(資料1～3はいずれも世界国勢団会より作成)

のぶお：世界で生産されている小麦の10%はアメリカ産ですね。

ゴメス：アメリカは世界の小麦の総輸出量にしめる輸出量の割合が4か国中最大です。

のぶお：アメリカの生産量は6.8億トンの10%だから0.68億トンですね。輸出量は何億トンになりますか。

ゴメス：1.3億トンの23%だから、0.299億トンです。

さくら：生産される小麦のうち、輸出される割合を「輸出率」とします。この輸出率を出して、それぞれの国的小麦のさいばいの特徴を考えてみましょう。

ゴメス：アメリカは生産量が0.68億トン、そのうち輸出されるのが0.299億トンだから、輸出率は約44%です。

のぶお：ロシアの輸出率を計算してみたら、約19%になりました。アメリカに比べてロシアは国内消費向けに小麦さいばいをしているのですね。逆にロシアに比べて、アメリカは輸出品として小麦がさいばいされている面が大きいことがわかりますね。

1 國際社會に関する問題 (1)

次の表は、資料1から資料3をもとに、のぶおさん、さくらさん、ゴメスさんが小麦の生産量・輸出量・輸出率をまとめたものです。カナダの生産量と輸出量と輸出率を計算しなさい。輸出率は百分率で表し、小数第2位を四捨五入して答えなさい。また、小麦の生産量と輸出率に着目し、カナダと他の3か国を比べて、カナダの小麦さいばいの特徴を書きなさい。

表 小麦主要生産国の生産量・輸出量・輸出率

	生産量(億トン)	輸出量(億トン)	輸出率(%)
アメリカ	0.680	0.299	44.0
ロシア	0.612	0.117	19.1
フランス	0.408	0.156	38.2
カナダ			

生産量 億トン	輸出量 億トン	輸出率 %
特徴		

考え方 ?

2 ステップ1 資料1を見ると、世界の小麦の総生産量が(1) 億トンで、総輸出量は(2) 億トンであるとわかります。資料2は小麦の総生産量にしめる4か国の生産量の割合で、カナダの割合は(3)%です。世界の総生産量が(1)億トンで、カナダは、その(3)%なので、(1)×(4)という計算をして、カナダの生産量を求めます。

ステップ2 資料3で、世界の小麦の総輸出量にしめるカナダの割合は(5)%となっています。したがって、カナダの小麦の輸出量は、(2)×(6)という計算で求めることができます。

ステップ3 輸出率は、(7)÷(8)×100を計算して求めることができます。上で説明したカナダの小麦の(7)と(8)をその式にあてはめて計算し、カナダの輸出率を求め、ほかの3か国と比べてその特徴を書きます。輸出率が高ければ、輸出品として小麦がさいばいされている面が大きく、輸出率が低ければ、多くを(9)向けにさいばいしているということです。カナダがどちらにあてはまるかを考えます。

実 戦 問 題

1 さやかさんは、農業についてお父さんと話し合っています。

【東京都立小石川中】

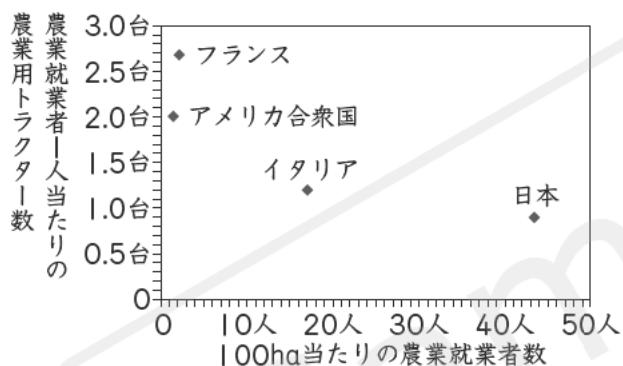
さやかさん：農業って、国によっていろいろな特徴があるのね。どんなことを調べれば、各国の農業の特徴が分かるの。

お父さん：農業のやり方を調べてみると、その国の農業の特徴が分かるよ。いっしょに調べてみようか。

さやかさんとお父さんは、各国の農業の生産活動を比較した資料1と資料2を見つけました。

□(1) 資料1と資料2を見て、フランス、イタリア、アメリカ合衆国の中から1つの国を選び、その国と日本を比較して、農業就業者1人当たりの農業用トラクター数、100ha当たりの農業就業者数、1ha当たりの肥料消費量、1ha当たりの穀物収穫量の特徴について、具体的な数値を使って答えなさい。

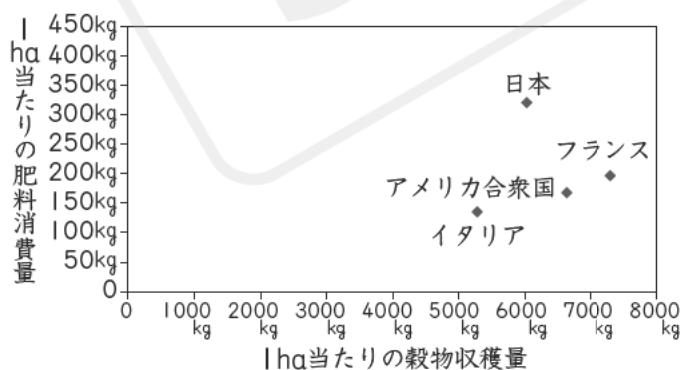
資料1 フランス、イタリア、アメリカ合衆国、日本の農業就業者1人当たりの農業用トラクター数と100ha当たりの農業就業者数(2007年)



	農業就業者1人当たりの農業用トラクター数	100ha当たりの農業就業者数
フランス	2.7台	2.2人
イタリア	1.2台	17.2人
アメリカ合衆国	2.0台	1.3人
日本	0.9台	43.5人

(「世界の統計2010」「世界国勢団会2010/11」より作成)

資料2 フランス、イタリア、アメリカ合衆国、日本の1ha当たりの肥料消費量と1ha当たりの穀物収穫量(2007年)



	1ha当たりの肥料消費量	1ha当たりの穀物収穫量
フランス	196kg	7293kg
イタリア	136kg	5275kg
アメリカ合衆国	168kg	6624kg
日本	321kg	6017kg

(「世界の統計2010」「世界国勢団会2010/11」より作成)

選んだ国

特徴

1 國際社會に関する問題（1）

さやかさんは、日本や世界の農業について調べていくうちに、農業や農村にはいろいろな役割があることに気づきました。

そして、さやかさんとお父さんは、資料3について話をしています。

さやかさん：農業や農村の役割は、作物を育て食料を作るだけじゃないよね。

お父さん：そうだね。農業や農村には、もっとたくさんの役割があると思うよ。農村の自然は生き物のすみかを作ったり、人の心をいやしたり、いろいろな面でわたしたちのくらしとつながっているんだ。

さやかさん：わたしたちの暮らしにとって農業って、とても大切なもののなのね。日本の農業は、これからどうなるのかなあ。

さらに、さやかさんは、これまで調べてきた資料から、これから日本の農業について、レポートにまとめてみることにしました。

- (2) これから日本の農業をどのように発展させていったらよいと思いますか。資料3を読んで、また、これまでの資料も参考にして、あなたの考えを書きなさい。140字以上160字以内で、段落をかえずに書きなさい。「、」や「。」もそれぞれ字数に数えます。

資料3 農業や農村の役割

<p>食べ物を作る わたしたちの命をはぐくむ お米や野菜などの農産物を作 る。</p>	<p>暑さをやわらげる 農地でさいばいされる作物 は光や熱を吸収し、気温を 下げるはたらきがある。</p>	<p>生き物のすみかを作る 水田や畑は、さまざまな生 き物のすみかとなる。</p>
<p>豊かな水を作る 水田や畑に降った雨は、土 の中にしみこみ地下水とな る。</p>	<p>資源のリサイクル 家畜の排せつ物、生ゴミ、 もみがらやおがくずなどが、 微生物のはたらきによって たい肥になる。</p>	<p>川の水量を安定させる ため池、用水路などの農業 用水設備を作ることで、川 の水量を安定させる。</p>
<p>大地を守る 水田や畑は、一時的に雨水 をためることができるので こう水や土砂くずれなどの 災害を防ぐことができる。</p>	<p>伝統や文化を伝える 豊作をいのったり感謝したりする行事やお祭りが昔から伝えられている。</p>	<p>心をいやす 農村の自然や風景は人びとに心の安らぎや落ち着きをあたえてくれる。</p>

(農林水産省ホームページより作成)

A blank 10x10 grid for drawing or plotting.

2 あゆみさんは、明治時代にイザベラ・バード（資料1）というイギリスの旅行家が山形県をおとずれ、「アジアのアルカディア」と旅行記の中で取り上げていたことを知りました。アルカディアとは、理想郷という意味だと知り、あゆみさんは、イザベラ・バードが旅をした当時の様子を調べてみることにしました。

バードの旅行記の中に、野菜や果物などが豊富につくられている様子が書いてありました。あゆみさんは、実際にバードが旅をしたコースをたどり、ぶどう畑を見つけました。ぶどうについて興味をもったあゆみさんは、ぶどうづくりについて調べ、資料2のようにまとめました。

【山形県立東桜学館中】

資料2

○世界中の産地では、その土地の気候に合わせてぶどうをつくっていて、例えば日本とフランスではつくり方がちがっている。

○山形県とフランスのボルドー地方のぶどうのつくり方の様子

山形県の内陸地方で見られるぶどう畠

著作権者への配慮から、
掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されて
おりますのでご安心ください。

フランスのボルドー地方で見られるぶどう畠

著作権者への配慮から、
掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されて
おりますのでご安心ください。

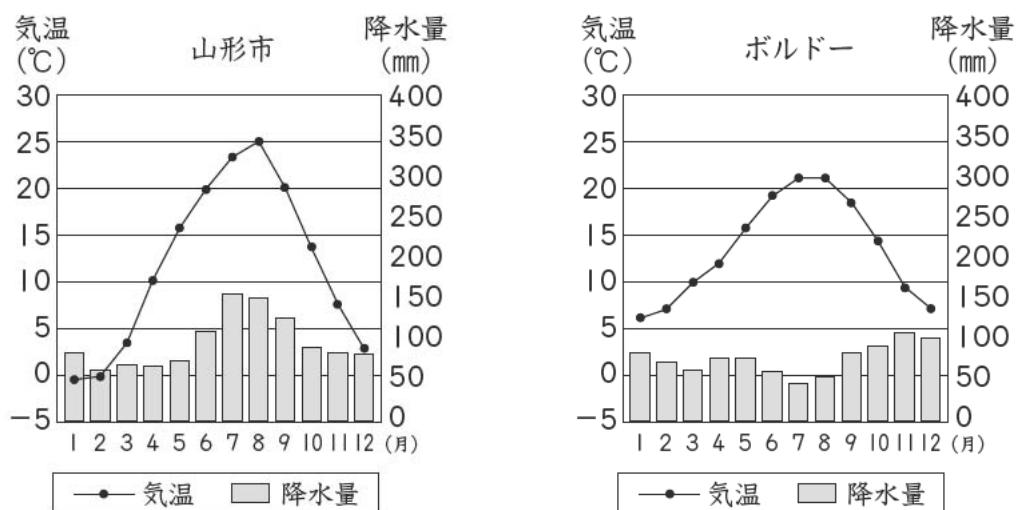
○次のような条件がそろうと、品質の良いぶどうができる。

- ・降水量は、あまり多くない方がよい。
- ・日光が当たっている時間は、長い方がよい。
- ・1日の中での昼と夜の気温の差は、大きい方がよい。

□(1) 資料3は、山形市とフランスのボルドーの気温と降水量のグラフです。資料2と資料3から、山形県の内陸地方の気候に合わせたぶどうづくりには、どのような工夫がみられるか、説明しましょう。

資料1
イザベラ・バード

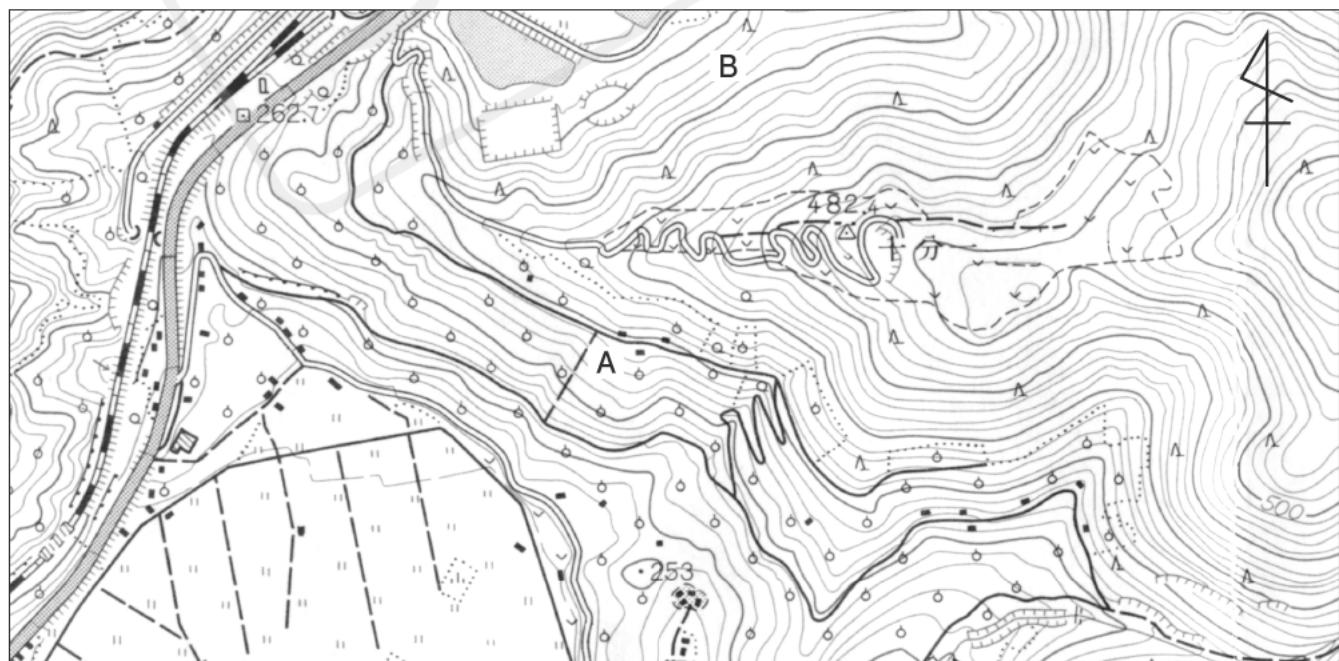
著作権者への配慮から、
掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されて
おりますのでご安心ください。

資料3 山形市とボルドーの月ごとの気温と降水量(過去30年間の平均値)^{へいきんち}

(気象庁の統計資料をもとに作成)

- (2) ぶどう畠は、地図1のAの付近に多く見られ、Bの付近には見られませんでした。資料2と地図1をふまえ、Aの付近に多く見られる理由を書きましょう。

地図1



(国土地理院発行 2万5千分の1地形図をもとに拡大して作成)